

令和五年 卯年

目次 Contents

JA役員、各組織 新年の挨拶	2
代表理事組合長 新年の挨拶	3
中央会会長 新年の挨拶	4
酪農対策協議会長 新年の挨拶	5
青年部・女性部長 新年の挨拶	6
乳牛改良同志会会長 新年の挨拶	7
同志会通信(写真コンテスト・新規EX獲得牛)	8
管理課からのお知らせ・乳質乳価	9
関連会社より新年のご挨拶	10
別海高校専攻科お知らせ	11
別海高校活動報告	12
営農対策情報	13
十二支・卯年の豆知識	14





新年のごあいさつ

中春別農業協同組合 代表理事組合長 望月英彦

新年明けましておめでとうございます。
 組合員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の当地区の天候は、一番草収穫時期において、今までに経験した事のない長雨に見舞われ、大変ご苦労されたことと思われ、二番草においては、天候に恵まれ、まずまずな収穫が出来たとところであります。牧草の質は良質ではないものの、量的には確保できたものと安堵しております。

コロナウイルス感染症が蔓延してから3年目となり、世界的な経済の落ち込み、又、ウクライナへのロシア侵攻、そして円安が重なり、秋には大手畜産法人の倒産と我々の営農環境が大きく変化ある年になってしまいました。

牛乳の生産環境は、消費の落ち込みから計画生産になり、10月

より下期生産に向けて全道目標415.9万tから下向修正され、5万t減の410.9万tと全道で決定させていただきました。その中、ホクレンには牛乳手数料の約15億全てを生産者へお返しをするとの大英断を下していただきました。

さて、当JAでは独自対策として、肥料取り纏めに向かいトン2,000円対策を取り組み、飼料高騰により無駄飯食いの牛の早期淘汰として、1頭20,000円の対策をさせていただきました。また、ホルオスヌレ仔牛の市場不成立による返却運賃の無償化を迅速に取り進めて参りました。さらには、年内のクミカン状況を鑑み、飼料の期中割戻しも2千万円行わせていただきました。

用途別乳価は、11月には飲用で期中に10円アップを見ており、メーカーは加工品を含め店頭販売

価格の値上げを实行しております。引き続き、乳製品向けの値上げに向け交渉してりましたが、12月22日の生乳受託販売委員会において、4月1日より1kg当り10円乳製品向け乳価全用途を乳業メーカー各社と合意いただきましたと発表がありました。乳業メーカー各社には、生産現場の抑制計画の中、更なる下方修正と生産者自らの在庫処理対策等に理解をいただいている合意と聞いております。乳業メーカー各社に感謝申し上げます。

令和5年に向けて、補給金に対してルール通りの算定で行われ、現場の状況を無しに今現在の生乳生産原価も反映されずとも残念な結果になってしまいました。また、限度数量も考え方の違いから、減量され330万tの決定になっております。世界人口は80億人を超え、今まさに世界に余剰農産物

はないと言われており、世界の1割の人口が常に食料難民と言われております。資源のない日本において、動物性タンパク質の安定供給を改めて叫ばなければなりません。しかし我々は、この根拠大だという広大な自給飼料確保の為に農地があります。土地を基盤として生産を確立し、ビタミンC以外は整うという素晴らしい牛乳は完全栄養食品であります。全ての日本国民に胸を張って届けていきたいと思います。

最後に一言、協同組合の原点は弱い物の集まりです。今だけ・金だけ・自分だけの考え方や勘違いを改め、組合員をはじめ役員一同力を合わせ、この難局を越えていきたいと思えます。新年の挨拶としては、精神論的な文面でお許しいただき新年の挨拶と致します。



令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございませう。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありました。が、収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAGグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。JAGグループ北海道は、日本の

食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年、第30回JAG北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAGグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国

で生産するという「国産国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになります。本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、「上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶2023

中春別酪農対策協議会 会長 山崎 浩二

新年あけましておめでとうございます。会員各位におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、昨年中は当会の事業運営に對しまして特段なるご理解とご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

新年のご挨拶にあたりまず昨年は振り返りたいと思います。2020年に日本に侵入してきたコロナウイルスは時の経過とともに変異を繰り返し、昨年はオミクロン株が猛威を振るい全国的に大流行しました。当地域においても例外ではなく、初めて身近にコロナウイルスが存在する事を実感する事態となりました。政府としてはワクチン接種を進めながらも、経済を動かすことを優先する方針としており、現在ではコロナウイルスの伝染病の格付けを一段繰り下げられることを検討しています。また、ロシアとウクライナとの紛争

は世界経済に想像以上の影響をもたらす。会員各位におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、昨年中は当会の事業運営に對しまして特段なるご理解とご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

は世界経済に想像以上の影響をもたらす。会員各位におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、昨年中は当会の事業運営に對しまして特段なるご理解とご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

は世界経済に想像以上の影響をもたらす。会員各位におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、昨年中は当会の事業運営に對しまして特段なるご理解とご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

これらの影響は酪農情勢にも多大な影響を与えており、一昨年から問題となっている乳製品の過剰在庫、学乳停止時期の処理不可能、乳発生の懸念などが要因となり、生産抑制しなくてはならない状況となりました。また、四半期ごとの配合飼料価格改定も上昇の一端をたどり、肥料価格についても前年比7割上昇となりました。さらには夏以降、個体販売価格が急落し、初生トク等は買い手がつかず何割かが殺処分となり、もともと経営環境の難しい一年と覚悟して臨んでいましたが、更に厳しい一年となりました。

近年にない厳しい酪農環境の中、皆様を少しでも応援しようと考える活動いたしました。農繁期の軽油補助、消費拡大活動として乳製品の取りまとめや無償配布を実施しました。また、農政活動として北海道農政部との意見交換、二度に渡る中央要請を実施して現場酪農家の窮状を訴えてまいりました。次年度は量より単価との意見で一致しており生乳生産目標数量は全道で9万トン削減の40.9万トンと設定されました。加工原料乳生産者補給金単価につきましては、49銭増の11円34銭となり、交付対象数量は15万トン減の330万トンで決定しました。交付対象数量15万トン減に対し、酪農緊急パワーアップ事業として加工原料乳生産者補給金総交付対象数量超過分に対し10万トンを上限に別枠で予算が措置され、交付対象数量そのものは一定水準を確保できたものの、補給金単価については現状の生産費高騰分をカバー

できる単価で決定しなかったことは残念でなりません。乳価については脱脂粉乳等加工向けを中心に令和5年度より10円の値上げで決定されました。高騰する経営費に対し、乳価改定が決定されたことは次年度に向けて非常に明るいニュースとなりました。そのような状況を踏まえ、現時点で山積している課題のほとんどは我々酪農家が引き起こした物ではないことは周知の通りであり、我々はもとより国や乳業メーカーも一丸となって課題解決に向かう一年となると感じています。最後になりましたが厳しい時こそ真価が問われている様に思います。自らを信じて歩みを止めなければ必ず良い一年になると信じています。



激動の時代に立ち向かえ！

中春別農協青年部 部長 片岡卓也

明けましておめでとうございます。

当青年部活動に對しまして組合員皆様をはじめ、農協や関係機関の皆様におかれましては、日頃よりご理解とご協力を受け賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返り、北海道での長雨等の天候不順による飼料作物への影響が色濃い年となり、長きに

亘る新型コロナウイルスによる農畜産物需要の激減、ロシアによるウクライナ侵攻・肥料原料高騰・急激な円安等による生産資材高騰が大きな不安をもたらし、生産費上昇を販売価格に転嫁できない危機的状況に営農継続を危惧する年となり、今後とも予断を許さない状況にあります。

そのような状況下の中、昨年度は自粛で行う事ができなかった事業も、工夫を凝らし、中春別小・中学生を対象に募集した標語のロールバックメッセージの作成や、三年振りの道内視察研修、全道J A青年部大会への参加等、例年の活動には到底及ばない中でも飛躍的に、活動のある一年となりました。

また地元の小・中学生に向けて、消費拡大を目的としたPRグッズや乳製品の配布を行いました。

また、青年部・女性部合同でのお中元・お歳暮ギフトは無事に全国へ発送することができ、注文を頂いた皆様のご協力に心より感謝致します。

本年度事業も残すところ3ヶ月余りとなりましたが青年部一同、これからも一層気を引き締めて各活動に取り組んでまいりますので、皆様方に於かれましては今後ともご指導の程お願い申し上げます。新年の挨拶と代えさせていただきます。



女性パワーを発揮していきます。

中春別農協女性部 部長 南澤順子

明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。日頃より女性部活動に對しまして、部員の皆さまをはじめ農協、各関係機関の皆さまのご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスによる生乳乳製品需要の大幅な減少や、生産者

自らによる計画生産の実施により酪農経営に大きな影響を及ぼしているなか、ウクライナ侵略や過度な円安進行に伴う配合飼料・肥料販売価格の大幅な高騰によって、酪農畜産業は過去に経験したことがない程の危機的状況になっています。

私たち女性部は、牛乳・乳製品消費拡大に協力する為に料理教室を開きました。牛乳を飲むだけで

なく、料理に使う事でたくさんの方が消費出来ると実感しました。この事は、料理の先生の提案で北海道新聞に掲載されました。また、青年部と合同で行っているお中元・お歳暮ギフトセットも無事に全国発送する事ができました。その他に、花壇整備・寄せ植え講習・しめ縄飾り講習など感染対策を取りつつ、開催する事ができました。

また、3年ぶりにAコープ秋の収穫祭でミルク豚汁の無料提供も行うこともでき、この様にコロナ禍でも集まる事が増えて、大変嬉しく思っています。

皆様のご理解とご協力を頂きありがとうございます。

今後とも交流を深め、女性パワーを発揮し厳しい時代を乗り越える事のできるJ A女性部組織を目指し、より一層活発な組織活動を展開して参りますので、よろしくお願ひ致します。

皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶と致します。



一日も早い回復を願ひ

中春別乳牛改良同志会 会長 寺澤佳吾

2023年、新年を迎えるにあたり日頃より格段のご理解、ご協力、ご指導を賜りました皆様へ謹んでお慶び申し上げます。

また、当同志会事業推進におきましては、農協はじめ、各関係機関の皆様にも多大なるご協力をいただき、役員、会員一同、心より感謝申し上げます。

3年前より、新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが世界的に拡大し、社会・経済にも大きな影響を与えておりますが、経済活動は徐々に日常を取り戻しつつあります。しかしながら、酪農分野においては長引くコロナ禍の影響による農畜産物の消費低迷、ウクライナ

情勢の悪化や急激な円安による燃油、飼料、肥料等生産資材の高騰により酪農家を取り巻く環境は厳しさを増しております。

こうした情勢下、令和4年度の事業と致しましては、新型コロナウイルスの感染防止対策を適切に講じたうえで、次世代を担う青年部と共催で「講習会」を行いゲノミック検査の活用方法について学びました。また乳牛改良等の更なる知識、技術の研鑽を目的とし「酪農視察研修」を実施致しました。

更に組合員や地域の皆様にシヨウや乳牛改良に触れ興味を持って頂けるよう組合日より紙面上で年2回の「ホルスタイン写真コンテスト」「特別企画「絵画コンテスト」

を開催し、好評を頂きました。その他にも、酪農全国誌に広告を掲載し、「中春別ホルスタイン」をアピールすることが出来ました。

各シヨウにおいては根室ブラック&ホワイトシヨウ、北海道ブラック&ホワイトシヨウ、根室ホルスタイン共進会、北海道ホルスタインショナルシヨウへ出品致しました。根室ブラック&ホワイトシヨウ、根室ホルスタイン共進会についてはブランドチャンピオンに輝き、ナショナルシヨウにおいては1等賞2席と1等賞5席を獲得する活躍を見せました。

日頃の乳牛改良の成果と致しましても、1頭が新規エクセレントを獲得し、累計エクセレント頭数を

は247頭を数えます。これら日々の乳牛改良に対する情熱と努力が実を結んだ結果となりました。次年度以降も新型コロナウイルスの影響は予断を許さない状況では

ありますが感染症予防対策を講じ、会員・参加者の安全と健康を第一に考えた中で一つでも多くの事業が展開できるように検討して参ります。

本年も乳牛改良と酪農経営を融合し、中春別の地に根差した「牛」を追い求めるべく、活動して参りますので組合員、農協、各関係機関のみなさまには変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

第45回 ホルスタイン 写真コンテスト 3歳ジュニアクラス

結果発表



中春別乳牛改良同志会（寺澤佳吾会長）主催で行いました第45回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けを当同志会佐々木良介氏が行い、**正解は、E→A→B→C→D→F**となりました。

残念ながら全問正解者はいませんでした。久保絵里さん、中西美咲さん、目黒真由さん、松尾春菜さん、古川潤さん、田中真由美さん、高橋徳正さん、小幡誠さん、矢部美幸さんに賞品を贈呈いたしますのでJ A中春別畜産課までおこし下さい。

《講評》

3歳ジュニアクラス6頭ですが序列はE→A→B→C→D→Fとさせていただきます。

トップにしましたE号牛ですが6頭の中で最も雌牛としての品位があり、移行のスムーズさそして全体のバランスに優れていたと判断しこのような序列と致しました。

2位にしましたA号牛の比較ですが、ともに体の質感および乳房底面の高さに優れておりますがトップとしましたE号牛の方が乳用性、尻の構造、後肢測望において、また乳房においても前乳房のパワーおよび付着という点において優れておりましたのでトップ並びにベストアダーとさせていただきます。

2位のA号牛と3位のB号牛の比較ですが、A号牛の方が体全体の鋭角性、肋の方向において優れておりましたので2位をA号牛とさせていただきます。

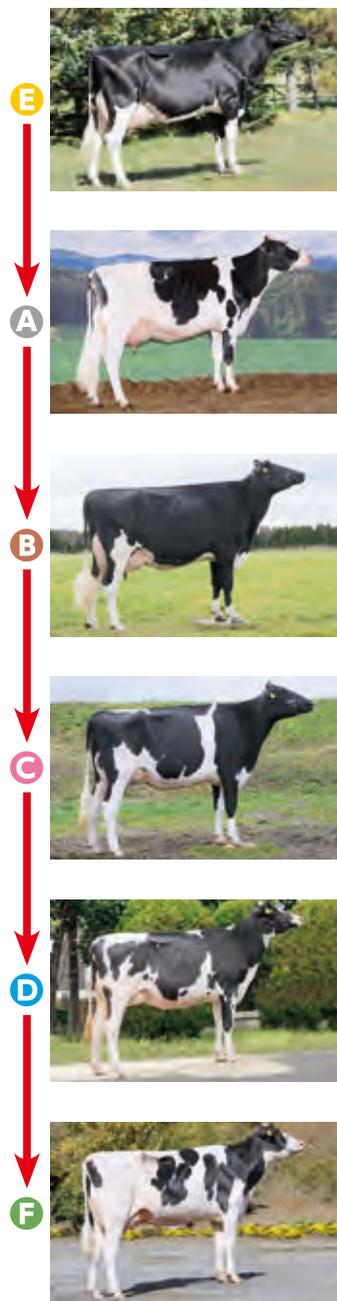
3位のB号牛と4位のC号牛の比較ですが、B号牛の方が乳房底面の高さ、また後肢飛節の鮮明さといった部分に関して優れていると判断し3位をB号牛とさせていただきます。

4位のC号牛と5位のD号牛の比較ですが、C号牛の方が体の長さ、胸の強さおよび肋の深さ、乳静脈の発達という点におきまして優れておりましたので4位をC号牛とさせていただきます。

5位のD号牛と6位のF号牛の比較ですが、D号牛の方が中軀の鮮明さ、尻の角度、蹄冠部の構造といった点におきまして優れておりましたので5位をD号牛とさせていただきます。

6位としましたF号牛も肋の深さにおいては深く評価しております。

この度私のような未熟者に審査講評の機会をいただきました事、厚くお礼申し上げます。至らない点ばかりではありますが、今回の経験を活かし日々精進して参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



EX-90(6-10)



令和4年

累計247頭

新規エクセレント獲得牛

プレザント ラッキー デコール ゴールド ショック

H27.8.6生 5-5 305 M9,619 F3.7% P3.2% SNF8.7%

父：MS アトリーズ SHT アフターショック ET

母：プレザント ラッキー デコール ゴールド クイーン

所有者 中西 裕哉 殿

組合員の皆様へ

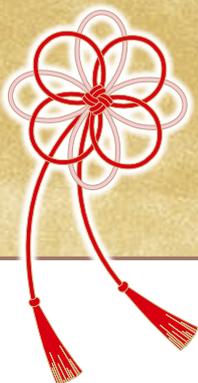
農協では例年、組合員の皆様へ年賀状にて新年のご挨拶をしておりますが、近年のデジタル環境への移行、自然環境意識の高まりも鑑みつつ、令和5年より年賀状を控えさせていただきますことといたしました。なお、新年のご挨拶についてははくみあいだより1月号でのご挨拶に代えさせていただきますので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

11月乳質乳価一覧表

		単価 (円)	算出基礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)	
乳脂肪分		970.377		40.45	38.91	1.54	
無脂乳固形分		616.680		54.57	53.23	1.34	
生産者補給金		6.4695		6.47	6.44	0.03	
集送乳調整金		2.0286		2.03	2.02	0.01	
補給金合計		8.4981		8.50	8.46	0.04	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	3.80	3.77	0.03	
		ランク2	0				8,775,940.9
		ランク3	-3				264,005.1
	体細胞数	ランク1	2				292,129,024.8
		ランク2	1				14,473,844.8
		ランク3	-2				2,751,968.9
合計				107.32	104.37	2.95	

11月生乳受託実績表

項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分①	40円45銭	
無脂乳固形分②	54円57銭	
生産者補給金③	6円47銭	
集送乳調整金④	2円03銭	
脂肪率	全道	4.17%
	農協	4.25%
無脂固形分率	全道	8.85%
	農協	8.79%
成分乳価 (①+②+③+④=⑤)	全道	103円52銭
	農協	103円99銭
乳質乳価⑥	全道	3円80銭
	農協	3円79銭
乳代合計 ⑤+⑥	全道	107円32銭
	農協	107円78銭
	差異	0円46銭



謹賀新年

関連会社より新年のご挨拶

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
令和5年 元旦

 **有限会社 中春別マシンセンター**

代表取締役 望月英彦

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

旧年中は何かとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願ひいたします
令和5年 元旦

 **(有)ジェイエー・ワンブ**

代表取締役 望月英彦

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2861・FAX(0153)76-2865

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
令和5年 元旦



訪問介護ステーション「あさひな」

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階 TEL・FAX(0153)76-3383

旧年中は何かとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願ひいたします
令和5年 元旦



(株)なかしゅんべつ未来牧場

代表取締役 望月英彦

共和育成センター 別海町中春別115-7 TEL(0153)76-2040・FAX(0153)76-2016
全酪連育成センター 別海町中春別131-42 FAX(0153)76-1878
酪農研修センター 別海町中春別170-1 TEL(0153)76-1230・FAX(0153)76-1232



視察などを通してたくさんの人と出会い、
自分スタイルの酪農を探してみませんか?

北海道別海高等学校 農業特別専攻科募集案内



農業次世代人材投資資金(旧・青年就農給付金・準備型)制度対象校です(要審査)。

入試日程等(1次) 【募集人員20人 就業年限2年間】

願書受付

令和5年1月10日(火)から
令和5年1月20日(金)正午まで

検査日

令和5年1月31日(火) 10:00

合格発表

令和5年2月9日(木)

検査内容

作文および面接

願書配布

令和4年11月30日(水)

年間必要経費

入学金や授業料など

44,730円

後援会・学生会費など

55,200円 合計99,930円

※令和5年度入学生初年度変更可能性有
※一部補助金(移住等により)を受けることができます。

日課表

～ 通常授業日 ～

1 講目 10:35～11:35
2 講目 11:40～12:40
昼 食 12:40～13:25
清 掃 13:25～13:35
3 講目 13:35～14:35
放 課 14:35～

登校日

月・水・金
(行事等で変更有)

登校日数

年最大で142日間
※選択科目により少くできます



農業特別専攻科の特色

- 18歳以上の酪農従事者を目指す方が、就労・実習を行いながら学校で酪農の理論を学びます。
- 牧草の収穫時期には、農場(自宅・実習先)で実践を、春・秋・冬に学校へ通学して理論を学びます。
- 正規従業員として法人や農場で働きながら通学可能。
- 実習生用の間借・社宅・住居借り上げなど、ご相談に応じます。

研修先の例

牧場内家賃なし、ガス代無料、給料(14万円～)支給。

酪農関連団体との連携・多様な視察研修の充実

- 各農業協同組合、農業改良普及センター、酪農試験場、NOSAI北海道、家畜保健衛生所、消防署等に講師を依頼し、専門分野の集中授業を行っています。



- 普及センターや農協など各事業所の協力の下、多様な酪農家への視察研修会を充実させています。



海外研修(選択)

- 2年時ニュージーランドでの研修が行えます。(選考有) 費用の一部補助有。



入学希望者説明会

説明会は、ご要望があれば随時受付をしています。

まずは、お気軽にお問い合わせ下さい!!

資料請求等・お問い合わせ先

別海高校農業特別専攻科 まで

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1
TEL.0153-75-2053 FAX.0153-75-2263
URL <http://bekkai.hokkaido-c.ed.jp>
E-mail bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp





北海道別海高等学校

酪農経営科・専攻科だより

1月号

●【酪農経営科】酪農視察研修

11月17日(木)に2年生対象の酪農視察研修が行われました。根室振興局主催の視察研修で、今年度は一般財団法人ジェネティクス北海道道東事業所、雪印メグミルク(株)別海工場の2社を訪れ、ジェネティクス北海道では、事業内容の説明を聞き、培養中の受精卵の観察をさせていただきました。雪印メグミルクでは、原料乳の受け入れ作業、粉乳の製造施設の見学をさせていただきました。残念ながら施設は稼働していませんでしたが、普段見ることのない施設の見学ができ、生徒は目を輝かせていました。



視察研修の様子

●【酪農経営科】校内実績発表大会

12月7日(水)に農業クラブの三大事業の一つである校内実績発表大会を実施しました。外部審査員に北海道開発局の池田様、根室改良普及センターの浦部様、J A道東あさひの新濱様、農クOB会の小椋様をお迎えし、厳正に審査していただきました。



発表の様子

どの班も地域農業の課題を取り上げた発表となっており、審査員の先生からも「地域の課題を見据えている、着眼点も面白い。」との評価をいただきました。結果は次のとおりです。

【最優秀賞】資源循環班

「消化液を使った栽培品種の検討
～消化液の良さを伝える～」

【優秀賞】乳牛研究班

「飼料自給率の向上を目指して①
～ダイズサイレージ導入の可能性～」

【優秀賞】IMC班

「牛乳消費拡大！
～生乳生産量日本一の町から広める牛乳の魅力～」

見事、入賞を果たした3つの班は1月19日・20日に土幌町で行われる東北北海道大会へ向けて練習を重ねていきます。

●【専攻科】視察研修会報告(後編)

視察研修会の第2日目の10月13日(木)は、大樹町の三木牧場を視察しました。

牛舎に入っただけで気づいたことは、牛が健康であり、糞の状態がとても良いということでした。お話を聞きながら、スタックサイロの状態を確認させていただきました。スタックサイロが15本もあり、デントコーンと牧草の品質がとても良いことに驚きました。同級生が経営しているコントラクターに作業依頼をしてお互いの信頼関係が強く三木さんが納得いくように作業をしてくれているそうです。



三木牧場の視察の様子

大樹町の4カ所目の牧場となる、(株)エンブレムKも視察させていただきました。以前から念願だった牧場視察なので、とても楽しみにしていました。この牧場は60頭の繋ぎ飼いをデラバルの搾乳機で搾乳する牛舎と、100頭のフリーストールをレリーの2台の搾乳ロボットで搾乳する牛舎で牛を飼養しており、牛群全体の体型や能力が改良されている牧場でした。



エンブレムKの視察の様子

第3日目の10月14日(金)は、家畜改良センター十勝牧場を視察しました。最初に種雄牛候補の精液採取業務と飼養管理について説明を受け、施設を見学をしました。次に飼料作物栽培圃場に移動し、国内で販売される飼料作物の原種の種子を生産して海外で増産し、民間企業が農家に販売するという仕組みについて説明を受けました。日本の畜産業の発展を直に支えている組織を見る貴重な機会となりました。



種雄牛候補の精液採取の様子

研修の最後に、芽室町の鈴木牧場を視察しました。32,571kgで国内最高乳量を更新したベルスマートSSカリウエイブET号を見ることができました。他にもゲノム評価で世界第3位となった牛やSNSで繋がった人たちとシンジケートを作り、250万円で購入した牛を見ることができました。今回の研修はとても有意義なものとなりました。



鈴木牧場の視察の様子



冬期は夏期に比べて牛舎を長時間閉め切ることや、放牧農家では牛が牛舎にいる時間が長くなります。そのため、牛体が汚れやすくなったり、空気が淀みやすくなったりします。つなぎ牛舎で快適な飼養環境を実現するために、今一度、施設や飼養管理を確認しましょう。

1 牛体の汚れを抑えるためには

牛体をきれいに保つことで、被毛の保温効果の発揮、牛舎内のアンモニア臭低減、乳房炎リスクの低減などにつながります。牛体の汚れを抑えるためには、牛床衛生資材を投入する量と除糞回数がポイントです。牛床衛生資材は牛床の手前2/3には十分な量を投入しましょう（写真1）。除糞は決まったタイミングだけでなく、気づいたときに除糞することで、より牛体の汚れを抑えることができます。



写真1 牛床衛生資材の散布

2 採食を快適にする

牛の行動に制限がかかり、採食の妨げになることがあると、牛は腹一杯食べることを諦めてしまいます。採食量が下がると乳量の低下、被毛状態の悪化などにつながります。繫留時の細部確認や、摩擦による首の傷がないか確認してみましょう。ここで牛床施設の改善事例を紹介します。

改善前 採食時にネックチェーンの金具と首が摩擦し、採食の妨げになっていた。

改善点1：ネックバーに巻きつけていたチェーンをはずし、繫留強度を緩めた

改善点2：金具の突起を牛床側から飼槽側に付け替えた



チェーンが短く、金具との摩擦で首に擦れ傷があった（採食の妨げになる）



採食範囲が広がり、採食時に首の摩擦がなくなり傷が解消した

3 新鮮な空気を取り入れましょう

牛舎では、牛の呼気や糞尿からの水分、アンモニア、炭酸ガスの発生など、空気が汚れる原因が複数あります。その際に換気が不十分だと、①牛舎内の温度が上がることで結露が発生する、②牛床が乾きにくく乳房炎が発生する、③アンモニア濃度が上昇し呼吸器病が発生する、などの悪影響を引き起こします。

冬期の換気方法として、牛の体に直接風を当てることなく、ゆっくりと牛舎内全体の空気を入れ換えることがポイントになります。

換気扇がある場合は、常にゆっくり回し、凍結の心配がない場合は牛舎内が冷えない程度に窓を少し開け、換気を行きましょう（写真2）。また、換気扇のない牛舎でも、暖かい日中は窓や扉をこまめに開け閉めして、できるだけ新鮮な空気を取り込みましょう。



写真2 冬期でも少し窓を開ける



十二支

卯年

の豆知識



「卯」という字は左右に開かれた門の形から出来たと言われており、閉じていた門が開き「とび出る」という意味があるとされています。

このように「とび出る」という意味から、卯年は「飛躍する」年と言われたりします。

実際に過去に起きた出来事を振り返ってみると、企業や人が大きく飛躍するきっかけになる出来事が起こったことが分かります。

■1963年

NHKテレビドラマシリーズ「大河ドラマ」が放送開始。現在も続く日本の代表的なドラマへ。

■1987年

アサヒビールより日本初の辛口ビール「アサヒスーパードライ」が発売され以降キリンビールを抜きビール市場シェア1位に。

■1999年

プロ野球ドラフト1位入団の「松坂大輔、上原浩治」が大活躍。後に2人はメジャーリーガーに。

■2011年

2011 FIFA女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が初の世界一に輝き、女子サッカー国内リーグの平均観客数も急増し代表メンバーは国民栄誉賞を受賞するなど「なでしこフィーバー」に沸いた。

次の卯年である2023年にはどのような飛躍の年になるのでしょうか。



組合員の皆さま・ご家族の皆さま新年明けましておめでとうございます。

ご家族御そろいで輝かしい新年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は組合だより「なかしゅんべつ」をご愛読いただきましてありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響から、行事やイベントの中止等で、記事が例年より少なくなりましたが、皆さまから写真をいただいたり、取材の依頼を下さったりと紙面づくりに励むことができました。ご協力ありがとうございました。

私事ではありますが、6月から異動により広報の担当になってから半年・・・時間の速さにとても驚いております。文章や写真撮影など、より一層成長していきたいと思っているので、今後も皆さまに楽しんでいただけるよう努力致します。

また、組合員の広場では皆さまの作品を募集しています。まだ作品を紹介したことがない人でも大歓迎です。他にも身近な情報や話題をお待ちしていますので、お気軽に営農振興課までご連絡ください。

これから本格的に冷え込む季節となりますので、体調管理と車の運転には十分お気をつけてお過ごしください。

本年も皆様にとって、素敵な一年となりますようお祈り申し上げます。[木下]